

編集後記

本センターレポートは、ICT 基盤センターの平成 29 年度(2017 年度)と平成 30 年度(2018 年度)の 2 年間の活動をまとめたものです。

最近のセンターレポートは、数年に一度程度の発刊となっています。前号では大学情報基盤システム（電子計算機システム）の更改に関する記事が掲載されていますが、本誌編集時にはさらにその更改の設計や調達を行っています。

また、大学当局にご理解いただき、次期キャンパス情報ネットワークシステム更改の調達を行っています。

センター所属教員は、他大学の研究者と学会や研究会で、センターが提供するサービスについての技術的な点や将来求められるものについて、常に討議を行っています。各大学によって歴史背景や学部構成、地域性などの事情は異なりますが、よいところはよいところとして、お互いに取り入れるようにしています。現在、更改を行っている上記システムも、その知見を生かして、新たな機能の提供や利便性の向上を図っています。

発刊直前になって、COVID-19 の蔓延が世界的な問題となっています。現代は、全国的・国際的な人・モノの移動が容易な時代ではありますが、伝染性の病気等については、その移動により伝搬・蔓延するリスクが高まります。

この困難な状況において、ICT を用いた対応が多くの機関でなされています。本学は、医学の分野でも多くの貢献がなされていますが、本学自体の活動も、ICT を活用して乗り切るという意思決定がなされています。

これまで、主に自然災害等を意識した BCP 対応を目指してきましたが、現在、このようなバイオハザードに対して、本センターがどのように貢献できるのか、センター教員や情報企画課は常に考え、実行しようとしています。

今後ともセンターの総力をあげ、大学情報基盤の高度化、情報セキュリティ対策の強化、情報教育の推進等を行ってまいりますので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

(D.Y.)

長崎大学 ICT 基盤センターレポート 2017-2018

発行 2020 年 3 月

編集・発行	長崎大学 ICT 基盤センター
所在地	〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14
電話番号	095-819-2222
ファクシミリ	095-819-2218